

ぐるり39

～自治調査会だより～

2019
4

NO. 067

[発行日]
2019.4.1



【写真提供】日野市 【撮影場所】浅川沿いの土手

▶2019(平成31)年度 自治調査会の主な事業	2	・東京雑学大学 5月講義案内	8
▶2019(平成31)年度 調査研究テーマについて	4	・イベント紹介	9
▶理事会を開催しました	6	奥多摩セラピーウォーク	
▶オール東京62市区町村共同事業		▶編集後記	9
みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成事業紹介	7	▶とっておきフォトスポット～日野市～	10
東村山市 東村山市住宅用太陽光発電システム設置費補助事業			
国分寺市 国分寺市環境ひろば			
新島村 新島村LED化事業			
▶多摩交流センターだより			
・多摩発・遠隔生涯学習講座4・5月開催予定の講座案内	8		

2019(平成31)年度 自治調査会の主な事業

2019(平成31)年度も、当調査会は、多摩・島しょ地域の市町村の広域的・共通課題の調査研究、市町村共同事業の実施・助成等を行うとともに市民交流の推進を図り、市町村の振興に寄与する事業を次のとおり実施します。

1. 調査研究事業

- シェアリングエコノミーで解決する自治体課題に関する調査研究
- 自治体窓口における業務改革に関する調査研究
- 公務員の副業による地域活性化に関する調査研究
- ペットを架け橋とした地域のつながり、組織のつながりに関する調査研究
- 東京島しょ地域の魅力紹介に資するための調査研究〔実態・現況調査〕
- かゆいところに手が届く!多摩・島しょ自治体お役立ち情報

※調査研究内容の概要は、本紙4～5ページをご覧ください。

2. 実態調査事業

● 多摩地域ごみ実態調査(毎年度実施)

多摩地域の自治体の清掃事業及びリサイクル事業に関する情報を調査し、基礎的かつ横断的な統計データを作成します。

● 多摩地域データブック(毎年度実施)

今後のまちづくりや政策形成の基礎資料として、「人口・土地」、「産業」、「都市基盤」など主要分野の統計データ集を作成します。

● 市町村税政参考資料・市町村財政力分析指標(毎年度実施)

多摩・島しょ地域市町村における財政力指数、経常収支比率、公債費比率等の分析指標及び市町村民税などの調定収入状況等のデータを作成します。

※5ページの関連記事をご覧ください。

3. 共同事業

(1) 39市町村共同事業

東京都市長会・東京都町村会と連携し、「多摩・島しょ広域連携活動助成事業」、「多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成事業」を実施します。

(2) オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」

都内62市区町村が、東京のみどりの保全や温室効果ガス削減への取組において連携・共同し、市区町村や地域の特性に応じた自然環境保護、温暖化防止対策の推進を図るため、次ページの事業を特別区長会・東京都市長会・東京都町村会・(公財)特別区協議会とともに実施します。

(3) 協賛事業

島しょ地域の子どもたちを対象に実施される「愛らんどリーグ(サッカー大会)」等に協賛します。

4. 普及啓発事業

機関紙「ぐるり39 ～自治調査会だより～」やホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/>)などを活用して当調査会の活動内容を周知するとともに、多摩・島しょ地域に関する情報を発信します。

また、調査研究の成果などを広く周知するために、シンポジウムを開催するとともに、平成30年度に実施した調査研究について、多摩・島しょ地域の市町村に出向いて職員向けに調査研究結果のプレゼンテーションを行う出張フォーラムを実施します。

さらに、市町村職員に向けた行政課題に関する情報提供誌「自治調査会 ニュース・レター」を発行します。

5. 広域的な市民活動支援

(1) 交流の場の提供事業

会議室、市民交流・資料室などの施設・設備を持つ多摩交流センターにおいて、広域的に市民活動を行っている団体に、会議室及び機器類などを提供します。

(2) 助成事業

①事業助成

市町村のワクを越えた広域的市民ネットワークを形成している団体が実施する地域づくり、まちづくりにつながる活動や、市民団体が主体的に取り組んでいる西多摩地域の振興活動に対し、経費の一部を助成します。

②活動支援

広域的な市民ネットワーク活動を新たに行いたい、発展させたい市民団体に対し、経費の一部を助成します。

(3) 共催等事業

多摩地域の広域的な市民の交流や新しい生涯教育の推進を図るため、市民団体等と共催し、TAMA市民塾、多摩の歴史講座、インターネット放送による多摩発・遠隔生涯学習講座、TAMAとことん討論会などの事業を実施します。

(4) 情報発信事業

- 多摩地域に関する各種の情報を収集し、多摩交流センター市民交流・資料室において、配架・提供します。
- 機関紙「ぐるり39 ～自治調査会だより～」やホームページで、多摩交流センターに係る情報を発信します。
- 「TAMAらいふ21」に関する記録や資料などを公開します。



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

2019(平成31)年度 事業概要

オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」は、東京で暮らす私たちにとって大きな課題である温室効果ガスの削減やみどりの保全について、東京都内の全62市区町村が連携・共同して取り組む事業です。平成19年10月に発表した「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」共同宣言に基づき、東京都市長会・特別区長会・東京都町村会の主催、(公財)特別区協議会と当調査会の企画運営により、実施しています。62市区町村の共同の輪を大きく広げることによって、各市区町村や地域の特性に応じた自然環境の保護、地球温暖化対策を推進します。

スタートから13年目となる2019(平成31)年度には、これまでの事業の検証及び今後の事業の検討をもとに、国の環境施策の動向等を踏まえながら、次の5つの事業を実施します。

[2019(平成31)年度事業]

①標準算定手法による温室効果ガス排出量算定の共有化推進	○62市区町村共通の標準算定手法により、温室効果ガスの排出量を算定して公表し、市区町村の計画等の基礎データとして役立てます。 ○市区町村ごとのデータの分析を積み重ねていきます。
②各団体の実施する事業との連携	○62市区町村が実施する環境事業に、1市区町村100万円を限度として助成します。 ○各自治体の成果をホームページ等でPRしていきます。
③ホームページの維持管理	○ホームページ「ECOネット東京62」(http://all62.jp/)において、「環境事業紹介」、「環境インフォメーション」等のコンテンツを提供し、当共同事業の普及・啓発に努めます。
④気候変動への適応策に関する調査研究	○従来の「緩和策」に加え、62市区町村が効果的に「適応策」を実施・推進できるように、研究面から支援を行うとともに、自治体間の情報共有の場を設定します。
⑤市民協働型温暖化対策実行計画推進研究会の設置・運営	○先進的な取組の実例に触れる機会、市民との協働の機会を設け、各市区町村の実行計画の策定に資する情報の提供等を行います。 ○当プロジェクトの総合的なPRの実施及び普及啓発を図ります。

この事業は、公益財団法人東京都区市町村振興協会からの助成金により実施しています。



かれん

「かれん」と「シーナ」は、この共同事業で平成21年度に小学生の環境教育用に制作した環境アニメーション『かれんと不思議の森』に登場するキャラクターです。本プロジェクトのイメージ

(小学6年生の女の子) キャラクターを務めています。



シーナ

(どんぐりの精)

みどり東京・温暖化防止プロジェクト
ホームページ <http://all62.jp/>

みどり東京

検索

2019(平成31)年度

調査研究テーマについて

当調査会では、多摩・島しょ地域の市町村の広域的・共通の課題を中心に、年度ごとにテーマを複数選定し、調査研究を実施しています。調査研究報告書は、多摩・島しょ地域の市町村などに配布するとともに、ホームページ(<http://www.tama-100.or.jp>)にも掲載し公開しています。

2019(平成31)年度については、5件の調査研究を実施することを予定しており、今回はその概要を紹介いたします。

シェアリングエコノミーで解決する自治体課題に関する調査研究

多摩・島しょ地域は2020年代に人口減少社会を迎えることが予測されているため、現在の事業・活動を継続することや、これまで住民同士の「共助」で行われていた事業を実施することも困難となる可能性が高く、新たな課題解決策を考える必要があります。その解決策の一つの手段として注目されているのが「シェアリングエコノミー」です。シェアリングエコノミーとは、官、民、個人、法人を問わず、それぞれが保有する活用可能な資産等（スキルや時間等の無形のものを含む。）をインターネット上のマッチングプラットフォームを介して、他者も利用可能とする経済活性化活動です。国もシェアリングエコノミーの活用推進・人材育成を進めており、2019年1月現在、15の都市が「シェアリングシティ」の認定を受けています。

本調査研究では、多摩・島しょ地域自治体が地域課題解決の手段の一つとしてシェアリングエコノミーを検討し、導入する際の事業検討に資することを目的とします。

自治体窓口における業務改革に関する調査研究

自治体窓口には市町村の顔として、複雑化・多様化する住民ニーズに対応し、より質の高いサービスを提供することが求められています。

2020年4月には会計年度任用職員制度が導入され、従来の臨時・非常勤職員は会計年度任用職員等に移行します。また、民間委託については、地方独立行政法人に自治体の窓口申請業務を委託できるようになり、委託できる業者の幅が広がりました。さらに、AIやRPAなどの新技術の導入により、窓口業務の見直しや新たなサービスを提供できる可能性が生まれています。

そのため、従来の窓口サービスのあり方を再検討する必要性が高まっています。

本調査研究では、自治体窓口のあり方について多様な観点から調査研究を行い、検討し提言します。

公務員の副業による地域活性化に関する調査研究

自治体経営が厳しさを増す一方で、地域活動の担い手不足も深刻な課題となっています。

国も国家公務員の副業・兼業の普及促進を図り、環境整備を進めています。公務員が報酬を得ることは、活動に対する家族の理解が得られ、意欲的に活動できることや、能力の活用、多様なキャリアのあり方を身をもって学ぶことにつながります。一方、地域側にも、活動の担い手不足解消や、地域の活性化につながるなどの利点があります。このため、既に一部の自治体では、副業に関する独自の規定を設け、地域活動への参加を促進しているところもあります。

本調査研究では多摩・島しょ地域における自治体職員の副業による地域貢献活動を通じた地域活性化の可能性について検討します。

ペットを架け橋とした地域のつながり、組織のつながりに関する調査研究

空前のペットブームといわれる現在、動物への配慮を求める価値観が急速に世間に定着してきており、「ペット=パートナー」という考え方は、今後当たり前のものとなっていくと思われます。

自治体にはペットが絡むさまざまな業務が、複数の部署にまたがって存在します。また、ペットを適正に飼育できない人の中には、精神障害や認知症、社会からの孤立等といった背景があることが多く、これも複数の部署や官民を横断する問題です。しかし、ペットの問題に関して部署間で連携する機会は非常に少なく、職員、住民双方の知識不足から、適切な対応ができていない場合も多く見られます。現在の行政の縦割リシステムでは、「動物は動物」「人は人」と、区別して対応していますが、2つの問題を関連付けて考えることも必要です。

本調査研究では、「ペット」をキーワードに、複数の部署や機関が連携する仕組みの構築について探ることで、独居者・障害者・高齢者等への対応や災害時の避難所運営準備など、今まで対応が後手に回っていた問題への新しい解決方法を提案します。

東京島しょ地域の魅力紹介に資する調査研究〔実態・現況調査〕

当調査会では、東京島しょ地域の魅力を紹介するべく、平成25年度に「東京島しょ地域魅力紹介ハンドブック」を作成し、各機関や一般に向けて広く配布しました。しかし、作成から5年が経過し、情報の更新を含め更なる魅力の伝え方を検討する必要があります。

本調査研究は、本調査研究を通じて得た情報を刊行物としてまとめることで、東京島しょ地域を訪れたことがない人に対して東京島しょ地域の魅力を伝えることを目的に実施します。

実態調査事業

当調査会では、上記の単年度調査研究に加え、行財政運営の参考となるように、各種統計資料を毎年度作成しています。

2019（平成31）年度についても、以下のデータ集を作成し、上記の調査研究と同様に配布・公開する予定です。

○多摩地域ごみ実態調査

多摩地域の清掃事業及びリサイクル事業に関する情報を調査し、基礎的な統計データ集を作成します。

○多摩地域データブック

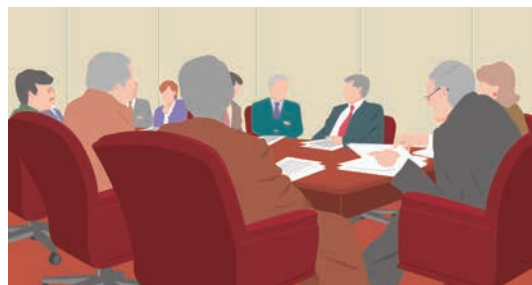
今後のまちづくりや政策形成など行政運営上の基礎資料として、「人口・土地」「産業」「都市基盤」など主要な統計データ集を作成します。

○市町村税政参考資料・市町村財政力分析指標

39市町村における、財政力指数・公債費比率・経常収支比率等の分析指標及び市町村税徴収実績等のデータ集を作成します。

理事会を開催しました

2019（平成31）年2月25日（月）に、2018（平成30）年度第5回理事会を東京自治会館で開催しました。今回の理事会等で決議された主な内容について紹介いたします。なお、4月1日現在の理事・監事・評議員は下記のとおりです。



1. 2019（平成31）年度事業計画及び収支予算

「市町村の行財政等に関する調査研究」や「市町村共同事業の実施及び支援」、「広域的市民活動への支援（多摩交流センター事業）」などの事業計画及び収支予算が承認・決定されました。事業内容については、本紙2～3ページをご参照ください。

2. 諸規則の改正

給与規則の改正を提案し、原案のとおり承認・決定されました。

3. 役員・評議員（2019（平成31）年4月1日現在）

【役員】

役職	氏名	所属
理事長	長友 貴樹	調布市長
副理事長	河村 文夫	奥多摩町長
常務理事	岸上 隆	東京都市長会事務局長
理事	石森 孝志	八王子市長
理事	浜中 啓一	青梅市長
理事	小林 正則	小平市長
理事	並木 心	羽村市長
理事	丸山 浩一	西東京市長
理事	橋本 聖二	日の出町長
理事	前田 福夫	利島村長
監事	渡部 尚	東村山市長
監事	坂本 義次	檜原村長

【評議員】

役職	氏名	所属
評議員	清水 庄平	立川市長
評議員	清原 慶子	三鷹市長
評議員	高野 律雄	府中市長
評議員	石阪 丈一	町田市長
評議員	西岡 真一郎	小金井市長
評議員	大坪 冬彦	日野寺市長
評議員	井澤 邦夫	国分寺市長
評議員	加藤 育男	福生市長
評議員	並木 克巳	東久留米市長
評議員	澤井 敏和	あきる野市長
評議員	青沼 邦和	新島村長
評議員	前田 弘	神津島村長
評議員	山下 奉也	八丈町長



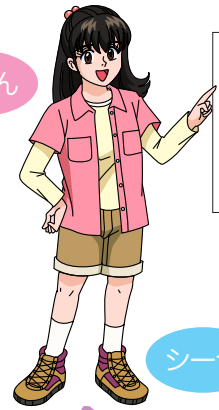
オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村助成事業紹介

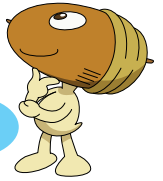
本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された事業を紹介します。

かれん



かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

シーナ



① 東村山市

東村山市住宅用太陽光発電システム設置費補助事業

東村山市では、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量削減を目的に、市民を対象に住宅用太陽光発電システムの設置を補助しています。

家庭でも導入できる環境負荷の少ない再生可能エネルギーの利用促進は、環境への意識を高めることにもつながっています。設置した方からは「節電意識が高まった」、「災害時の不安の解消になった」等の声もあり、家庭におけるエネルギー消費量の削減と非常時の自立に一定の効果があったと考えられます。

【問合せ先】東村山市 環境・住宅課 TEL 042-393-5111



Tama 東村山市

② 国分寺市

国分寺市環境ひろば

国分寺市では、市民・事業者・市が一堂に会し、環境に関する意見交換を行う協働の推進組織として「国分寺市環境ひろば」を設置しています。

「国分寺市環境ひろば」は意見交換のほか、市内で開催する国分寺まつりや環境まつりに市民への啓発活動を目的にブースを出展し、昨年は生きものさがしアンケートや子ども向け生きものクイズを実施しました。

また、毎年2月には市との共催で環境に関するテーマを設けて、環境シンポジウムを開催しています。今年は“国分寺の樹木・樹林地を考える”をテーマに講演会を開催し、多くの方に参加いただきました。

【問合せ先】国分寺市 まちづくり計画課 TEL 042-328-2192



Tama 国分寺市

③ 新島村

新島村LED化事業

本事業は、村施設の照明をLED化することによって、島内の省エネに寄与するとともに、住民に対してエコロジーを推進することを目的とする事業です。

2018年度は、子どもから高齢者まで利用の多い新島診療所の照明をLED化し、島内の省エネに寄与しました。廊下、医師勤務室、薬局、薬品庫、受付など新島診療所施設内の主要箇所ほぼ全てのLED化を行いました。2019年度以降も随時、村施設の照明のLED化を実施していきます。

本助成金によって、まずは村が率先して村施設を省エネ化することで、村全体でのLED照明などの環境に配慮した省エネルギー機器等の使用普及を推進していきます。

【問合せ先】新島村 企画財政課 TEL 04992-5-0204



Islands 新島村



多摩交流センターだより

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会



2019年4月・5月開催予定の講座案内

182回

題名

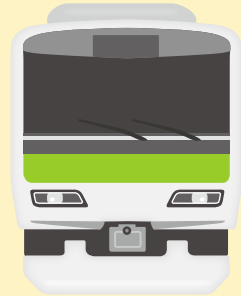
山手線ものがたり

日時 2019(平成31)年4月11日(木) 14:30から約1時間

講師 川口 順啓 氏

(元JR東海専務取締役・元財団法人JR東海生涯学習財団常務理事)

内容 山手線は、東京の大動脈とも言える交通機関ですが、一朝一夕に出来上がったものではありません。明治18年に日本鉄道会社の品川線が開業し、同36年に豊島線が増設され、同39年に国有化されたのち、同42年に両線が統合されて「山手線」と命名されたのです。環状運転が可能になったのは、大正14年末のことでした。その発展の道筋を見ていきます。



- 受講料 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター
- ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

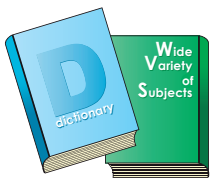
問合せ先 TEL070-2685-3602(高原) TEL0422-52-0908(菅原)

日時 2019年5月9日(木) 14:30から約1時間

183回

題名 地域における防災活動の実践例

講師 小川 雄二郎 氏(前富士常葉大学(現常葉大学)教授・元アジア防災センター長)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

2019年5月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は5月9日を除き、1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1177回	5月2日(木・祝) 14:00から	ペリー提督献上の蒸気車と 新橋・横浜間の鉄道開設	日景 洋一 氏 (横浜黒船研究会会員・元横河電機勤務)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1178回 ※	5月9日(木) 14:30から	地域における防災活動の 実践例	小川 雄二郎 氏 (前富士常葉大学(現常葉大学)教授・ 元アジア防災センター長)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター (JR三鷹駅北口 徒歩7分)
第1179回	5月16日(木) 14:00から	小国アイルランドから見えるもの・ 文化・社会・人材研究	小館 香椎子 氏 (日本女子大学名誉教授・電気通信大学特任教授)	小金井市前原暫定集会施設 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井市役所向い)
第1180回	5月23日(木) 14:00から	世界遺産とその背景	武井 聖子 氏 (世界遺産検定認定インストラクター・ 世界の生活文化研究会主宰、オフィス・アィム代表)	小金井市前原暫定集会施設 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井市役所向い)
第1181回	5月30日(木) 14:00から	茨木のり子の詩	志賀 澤子 氏 (舞台女優)	小金井市民会館 萌え木ホール (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 前原暫定集会施設の隣)

☆申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。 ※第1178回は、第183回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

変更:本誌3月号(No.066)4ページで案内した「東京雑学大学」の教場を変更いたします。

4月18日(木)教場 小金井市 前原暫定集会施設(変更前)

(JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分小金井市役所向い)



田無公民館(変更後)

(西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)

問合せ先 TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

イベント紹介

奥多摩セラピーウォーク

- 日 時** 2019（平成31）年4月29日（月・祝）
受付時間 9：00～11：00（荒天の場合中止あり）
受付場所 奥多摩駅前
コース JR奥多摩駅～奥多摩むかしみち～奥多摩湖（10km 4時間）
内 容 奥多摩むかしみちは、都内で初めて森林セラピー基地として認定された奥多摩町にある5つのセラピーロードのうちの1つで、今も随所に昔のままの姿が残されています。奥多摩駅をスタートし、昔をしのびながら、ゴールである奥多摩湖をめざして新緑あふれる奥多摩の自然を満喫できるコースです。参加者にはコース途中で奥多摩名人・達人ガイドたちによる名所案内、ゴールとなる奥多摩湖では物産展とクラフトフェアも開催され、あわせて楽しんでいただけます。
- 参加費** 500円（受付時に支払い、保険料含む）
主催 奥多摩セラピーウォーク実行委員会
問合せ先 奥多摩セラピーウォーク実行委員会事務局（奥多摩町役場観光産業課内）
 TEL 0428-83-2295 FAX 0428-83-2344
 ホームページアドレス <http://www.town.okutama.tokyo.jp>

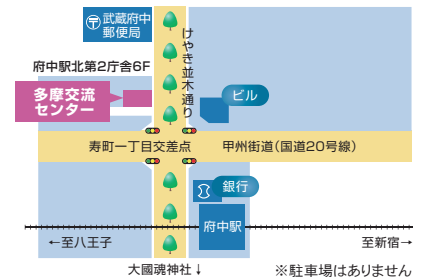


「多摩交流センターだより」の問合せ先

(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F
 TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127
 ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- 30年以上続いた平成の時代も今月末で終わることとなり、新しい時代の到来が近づいています。9月のラグビーワールドカップ、来年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、2025年の大阪・関西万博など、多くの人々で賑わうイベントが予定されています。また、国際会議場・大型ホテル・カジノ施設等から成る統合型リゾート（IR）の開設による観光や地域経済の活性化が期待されています。しかしながら、こうした明るい話題の一方で、これからは、各自治体を取り巻く環境や地域に暮らす人々の生活に大きな変化が起きることが予想されます。
- 人口減少・高齢化が進展する中で、労働力の不足や経済成長の減速が懸念され、これに公共施設の老朽化等も加わり、今後、各自治体が健全な行財政運営を維持していくためには、難しい舵取りが求められます。また、滞在・在住する外国人の増加、価値観・ライフスタイルの多様化等により新たな行政サービスの展開も必要になってきます。情報通信機器の発達や技術革新等によりカバーされる部分もありますが、行政サービスや地域の活動をこれまでどおりの規模・内容

で維持していくことは難しくなっていくと思われます。さらに、地球温暖化による気候変動や異常気象が人々の暮らしに大きな影響を与えており、各自治体にはこれまで以上の対応も求められてきます。

こうした課題を基礎自治体単独で解決することは困難になってきており、今後は自治体間の連携や、自治体・地域の人々・企業等が協働・連携して対策に取り組んでいくことがますます大切になっていくと思われます。

- 当調査会は、これまでも時代に先駆けて、「自治体の空き家対策に関する調査研究」、「基礎自治体における多文化共生施策に関する調査研究」、「基礎自治体におけるAI・RPA活用に関する調査研究」、3ページに記載のオール東京62市町村共同事業として「気候変動への適応策に関する調査研究」など様々な分野で調査研究や関連する事業を行ってきました。

当調査会は、引き続き広い視野に立ち、多摩・島しょ地域における持続可能な自治体運営や地域社会のあり方を目指し、職員一丸となって事業に取り組んでまいります。(S.K)

とっておきフォトスポット

第16回 日野市

きれいな景色やおもしろいものを見つけたら、写真を撮りたくなるよね。

今回はわたげのボクが「日野宿本陣」と「新選組のふるさと歴史館」を紹介するよ。



日野宿本陣

@WATAGE



都内に唯一残る、江戸時代に建てられた本陣建物だよ。日野宿の名主だった佐藤彦五郎が、本陣兼自宅として使用しており、以前は天然理心流の剣術道場を兼ねた長屋門もあったよ。

後に新選組隊士となる日野市出身の土方歳三や井上源三郎のほか、近藤勇や沖田総司が稽古に励んでいたんだ。新選組と日野の人々との物語の幕がここから開いたんだよ。

撮影のPOINT!

- 門をくぐると幕末にタイムスリップしのような景色が現れて、新選組隊士の息吹が今も感じられるんだ。
- 太い大黒柱や、様々な意味をもつ釘隠しなど、建物内部にも気になるポイントがたくさんあるよ。



新選組のふるさと歴史館

@WATAGE



古文書などの史料をもとに新選組を紹介する常設展の他、特別展も開催されているよ。

2019年は日野市出身の新選組副長土方歳三没後150年にあたるため、4月20日から特別展「土方歳三」が開催されるんだ。日野市で過ごしていた頃の歳三の姿や、新選組の副長から旧幕府軍全体の指揮官へと成長していく歳三の実像などが紹介されるよ。

撮影のPOINT!

- 新選組隊士の衣装を着て記念撮影ができるコーナーがあるんだ。和装と洋装があって、小物も充実しているんだ。
- 近くには桜がきれいな日野中央公園があるよ。



[現地案内]

←◆浅川沿いの土手【表紙】

京王線「高幡不動」駅から徒歩16分

◆日野宿本陣→

JR中央線「日野」駅から徒歩12分(入館料:大人200円、小中学生50円)

◆新選組のふるさと歴史館→

JR中央線「日野」駅から徒歩15分、または日野駅から京王バス高幡不動行き(日02)で約2分、「日野七小入口」下車、徒歩5分
京王線「高幡不動」駅から京王バス日野駅行き(日02)で約15分、「日野七小入口」下車。
(入館料:大人200円、小中学生50円)

[情報・写真提供] 日野市産業スポーツ部シティセールス推進課 TEL 042-514-8098



写真を撮るときは、周囲の状況をよく確認し、柵を越えたり立ち入り禁止区域に入るなど、マナー違反にならないようにね!

【発行日】平成31年4月1日

【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会

【責任者】岸上 隆

〒183-0052東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています。